

セミナー 第1回

日時 令和元年7月23日(火)

午後1時30分～3時30分

会場 鹿沼市民情報センター2階 子育て情報室

演題 男女共同参画を考えよう

講師 上都賀教育事務所 ふれあい学習課

社会指導主事 大橋 礼子さん



プロフィール

● 教員として鹿沼市の小学校に7年間勤務。鹿沼市自然体験交流センターに7年間勤務。

● 平成31年4月から、上都賀教育事務所に配属になる。主に、人権教育、読書活動の推進を担当。

△▽はじめに▽△

講師：皆様こんにちは、上都賀教育事務所の大橋礼子と申します。本日はどうぞよろしくお願ひ致します。私は、大学時代だけちょっと離れましたけれども、鹿沼で育って鹿沼に住んでいます。現在は自分の両親と子供が二人、一応旦那さんが1人おりまして6人家族です。4月から娘が大学生になりまして、離れて住んでいるところで、ちょっとさびしい思いをしています。本日は皆さんと一緒にたくさん勉強しながら楽しい時間を過ごしていければなあと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

今日は、「男女共同参画を考えよう」というテーマにつきまして是非、和やかな雰囲気を進めていきたいと思っております。私も実は緊張しております。昨年度まで子どもが対象の仕事でしたので、大人の方と一緒に勉強会をするのは本当に慣れないところですが、やさしく見守っていただければなあなんて思っております。この講座については、4回シリーズで、皆様のよりよい未来について考えて行くという事を伺っております。皆様方にはですね男女共同参画の考え方を軸にしながら、これまでよりもさらに意欲的に物事に取り組んでいただけるように、明るい未来、元気な未来、という事も含めまして、今日はたくさん語らせていただけたらと思っておりますので、積極的に参加していただきたいと思ひます。

最初に、約束事といたしますか、お願いがあります。一つ目は「**尊重**」とすることです。一人ひとり、様々なお考えがあると思いますので、そういった他の方の意見も「そうだね、そうだね」とお話を聞きいれていただきたいと思います。批判とか否定をしてしまうとせっかく勇気を持ってお話をした方が、言わない方がいいのかなという風になってしまうので、そうならない為にも、是非お一人お一人の考えを尊重して下さい。二つ目は「**参加**」という事です。先ほども申し上げましたが、積極的に参加していただければと思います。たくさんの方の色々なお話を聞き、どうしてもこれは言いたくないなという事がありましたらそれはパスで、無理してお話していただかなくても大丈夫ですので、積極的に参加をしていただきたいと思います。もう一つとっても重要なのが「**守秘**」。参加者の個人的な情報についてです。和やかになってくると、もしかすると「うちはこんなことがあるのよ～」っていうお話が出てくることもあるかと思いますが、ここで聞いたことはこの場所に置いて帰っていただきたいと思います。万が一お家に帰って、「あそこのうちの人こんななんだって」なんて言われてしまうと、それは個人的な情報が外に漏れてしまうことになりますので「**守秘**」ということをお願い致します。

△▽アイスブレイク▽△

講師：これからちょっと頭の体操をしますので、鉛筆を置いてください。まず、右手をグーにして胸に置いて下さい。そして左手はパーにして前に出します。できましたね。私が「はい」と合図をしたら、こんどは右手をパーにして前に出しながら左手はグーにして胸にあてる。必ず前に出る手がパー、胸にあてる手がグー、これを交互にやりたいのです。やってみますね、良いですか。「はい！」「はい！」「はい！」段々早くなっていきます「はい！」「はい！」(会場笑) ありがとうございます。素晴らしい、とっても上手です。じゃあちょっとレベル上げます。次は右手をグーにして前に出しますね。胸にあてる手がパーです。さっきと逆ですよ。同じように入れ替えをします。胸にあてている手がパーです。行きます！せーの「はい！」せーの「はい！」「はい！」「はい！」(会場笑) はい、ありがとうございます。ちょっとした頭の体操になるので、是非お家に帰ったらどなたかと一緒にこのゲームをやっていただくと面白いかと思います。ありがとうございます。

では次は、じゃんけん自己紹介というのをやっていただきたいと思います。出会った人とまず、その場でじゃんけんをしてください。勝った方から自己紹介をしていただきます。お名前と好きな食べ物で良いですのでお話ください。年齢は言わなくていいです。(会場笑)「こんにちは、大橋礼子と言います。好きな食べ物はラーメンです。よろしくお願ひします」とこんな感じです、そうしたら交代して自己紹介します。終わったら違う人を探しに行ってください。ここで一つお願いがあります。じゃんけんですが、3回勝ってほしいのです。連続じゃなくてもいいので、3回勝つまで続けて下さい。それで

はスタートです。

ーじゃんけん自己紹介をするー

講 師：みなさんご協力ありがとうございました。最初と全く皆様の表情が変わって、ニコニコ笑顔がたくさん見えていますよ。私もホッとしたというか、嬉しくなりました。先ほど何人か同級生のお母さんが声をかけてくださりまして、ああ、ここは鹿沼なんだなあ。私の住んでいる地域なんだなあとすごく感じました。実は私、結婚はしているのですが、姓が変わっておりません。大橋礼子のままずっと生きてきているので、小学校の同級生のお母さんはピンとくるわけですね。今日は縁がありまして皆様とお会いすることが出来てありがたいです。それでは、もう一つ動いて、そのあとはしっかり講座をしていきたいと思います。

次は「大切な日ライン」というものをやります。皆様にとって大切な日って必ずあると思います。その日を口に出さずに自分の頭の中にイメージして下さい。例えば私でしたら、結婚したのが2000年の1月1日なんです。私1という数字が結構好きなんです。という感じで、何月何日って日にちを浮かべてください。



そして、数字の若い順から並んでいただきます。数字の一番若い方がここ、ぐるっと回って一番数字の大きい方がここ、と言う風に並びます。但し、このあとはしゃべらないで、口に出さずにジェスチャーか、指文字か、そういう物を使って意思疎通を図っていただきながらうまく並んで欲しいと思います。出来そうですね。大丈夫ですか。数字を紙に書いて見せるのはナシですよ。お互いにうまくコミュニケーションを取りながら並んでいただければと思います。やり方、大丈夫ですか？では、もう一度立っていただいて、スタートをしたいと思います。ではお願いします。どうぞ。(皆並ぶ)

講 師：はい、では答え合わせをしても良いですか。じゃあ、順々に数字を言ってもらいたいと思います。

受講生：1, 2, 3, 4、…、途中順番違いも…。

講 師：はい、ありがとうございました。実はどうして並んでいただいたかという、この順番を基にグループ分けをします。是非、初めて会う方とたくさんお話をしていたきたいのです。私の方で人数割りをしますので、移動してください。

△▽ジェンダーチェックシート▽△

講 師：行ったり来たりして申し訳ありませんでした。では早速ワークに入っていきた

と思います。資料の中に、ジェンダーチェックシートというものがあるのですが、そちらを準備していただけますか。こちらはまず、ご自分で回答していただくものです。このジェンダーという言葉は聞いたことがある方もいると思いますが、生物的に分けた物とは違う、社会的、文化的に形成された男女の違い、これをジェンダーと言います。これについては後半でも詳しく説明しますが、まずはそちらのジェンダーチェックシートの1番から16番までの「はい」か「いいえ」に○をつけてみてください。ページの一番下に「はい」を付けた数で評価が書いてありますので、終わった方はそちらを見てお待ちください。では記入をお願いします。

講師：だいたい終わりましたか。下の評価の所も読んでいただけましたか？今、みなさんグループを組んだばかりですね。じゃんけん自己紹介で出会っている人がいるかもしれないのですが、名字だけでも良いので自己紹介をしていただきます。ジェンダーチェックシートをやってみて、ご自分がどんなことを感じたか、評価に関してでもいいので、感想を皆さんにお伝えいただけます。人それぞれ考え方がありますので、最初に申し上げた通り、「そうだね～」という風に聞いてあげてください。よろしいですか？お名前と簡単にチェックシートの感想をお話いただければと思います。それでは、よろしくをお願いします。

—話し合い—

講師：たくさんお話されたようですが、一旦切らせてもらいます。ちょっと聞こえてきたお話では、「主人のご飯を必ず作ってからじ

ゃないと出掛けられない」とか、「今度私も仕事を辞めたので、私とあなたは平等よ」など、そんなお話が聴こえてまいりました。それぞれ、ご家族ご家庭で色んな状況があるのかな？なんて、情報交換も含めて出来たのではないのかなと思います。

△▽その「ちがい」、何のためにあるの？▽△

では次のワークに移らせていただきます。皆さんこれらを利用したことありますか？一

ジェンダーチェックシート		
「はい」か「いいえ」に○をつけてください。		
① 妻が外出すると、夫の機嫌が悪いのは仕方がない。	はい	いいえ
② 「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない。	はい	いいえ
③ 父親が子どもの友達の名前がわからないのは仕方がない。	はい	いいえ
④ 子どもの教育や家庭内の重要なことは、父親の意見が優先されるべきである。	はい	いいえ
⑤ 女の子には優しくかわいらしく、男の子には強くたくましく育てほしい。	はい	いいえ
⑥ 家事の手伝いをつい娘にさせてしまう。又は、息子が家事の手伝いをしなくても気にならない。	はい	いいえ
⑦ 子どもの担任との連絡は、母親の役割であると思う。	はい	いいえ
⑧ 妻が仕事をするのはいいが、家事の手抜きをするのは好ましくない。	はい	いいえ
⑨ 一緒に住んでいる長女がいても、喪主を務めるのは離れて暮らしている長男の役割である。	はい	いいえ
⑩ お祭りでは、女性が裏方で食事やお酒の準備や片付けなどをしている。	はい	いいえ
⑪ 男性よりも女性の言葉づかいの悪さが気になる。	はい	いいえ
⑫ 女性が地域活動で中心的な存在で頑張っていると、女なのに目立ちすぎると思う。	はい	いいえ
⑬ 男性はまだしも、女性がたばこを吸うのは許せない。	はい	いいえ
⑭ 日ごろの親戚付き合いや近所付き合いは、妻任せである。	はい	いいえ
⑮ 会合で、お茶や食べ物を出したり後片付けをしたりするのは、女性の役目である。	はい	いいえ
⑯ 町内会や自治会は、実際に参加するのが女性でも、代表は男性が良い。	はい	いいえ
		「はい」の数の合計 ⇒ <input type="text"/> 個

<評価の仕方>

「はい」の数が14～16個のあなた
 女の役割、男の役割にこだわっていませんか？性別役割の固定された家庭で、本当に一人一人が「自分らしい」生活方をしていますか？地域においても、男女が同じように参加できる方が、きっと暮らしやすいですね。ほんの少し、生活を見直してみよう。

「はい」の数が4～13個のあなた
 男女の役割分担について、まだ少しこだわりがあるようですね。また、男女平等なんて常識と思いつつ、周囲の目を気にしすぎて、意識と行動の矛盾に悩んでいるのかも知れません。性別に対するこだわりを思い切って取り除き、一番身近なところから意識と行動を見直していきましょう。

「はい」の数が0～3個のあなた
 ジェンダーについてかなり高い意識を持っています。家庭においては、家族全員が協力し尊重し合いながら、男女平等な関係を築いていることでしょうか。あなたのような方が地域に参加し、あなたの考えを行動で示し、周りの人々を巻き込んでいくことで、きっと、地域の人のジェンダーに対する感覚も変わっていくはずです。

つ目です。毎週水曜日はレディースデーでお食事料金30%オフ。使ったことありますか？実は私もこれを使ってこの間友達と食事をしました。30%オフって大きいですよ。次もレディースデーです。これは車屋さんの広告なんですけれども、車を洗ったり、ガラスを拭いてくれたり、タイヤをきれいにしてハニーパック820円とか、タイヤ交換が1600円で出来るよとか、レディースデーとして女性の方に特典を付ける。最近このようなサービスが多いと思わないですか？ある芸人さんが、「女に生まれて良かったー」って言っているのを聞いたことがあるかと思いますが、これは女性向けという事でやっていますね。というところで、今日はもう一つやっていただきたいことが「その『ちがいがい』何のためにあるの？」です。今、レディースデーの話をしました。皆様のお手元にある「その『ちがいがい』何のためにあるの？」というシートをご覧ください。こちらにAからFまでの6つの事例が載っています。そちらを読んでいただきまして、社会にとって必要か、必要ないか、どちらかに○をつけてお答えいただきたいと思います。まずは2分くらいおひとりで考えていただいて、必要か必要ないか○をつけて下さい。お願いします。

講師：では2分経ちました。ご自身のお考えで必要か必要ないか選んでいただけたかと思います。次にA、B、C、の3つについて、必要か必要ないか議論して、グループとしてのお答えを決めていただきたいと思います。決めていただいたら机の真ん中に、必要か必要ないかの用紙が置いてあります。私が、Aについてはどうですかとお聞きしますので、グループで決めた答えの用紙を挙げていただきたいと思います。ではグループ毎にお話して下さい。

ー話し合いー

講師：もしかするとまだ議論を重ねている所もあるかなと思いますが、ここで終了したいと思います。おそらく中には、「私はこうだと思っけれども、周りがそういうからそちらにしたわ」という方がいると思うんですね。それはそれで、まっさしく、ここに書いてある

「尊重」をしていただいたという事で、ありがたいなと思います。では、一つ一つ聞いていきますので、他のグループはどうだったかなと見渡してもらいたいと思います。それでは、まずAです。

その「ちがいがい」、何のためにあるの？ ワークシート1

事例A～Fは、現在、日本で実際に女性に対して行われているものです。
それぞれの事例を読み、自分の考えに○を付けてみましょう。

	事例	社会にとって
Ⓐ	A鉄道会社では、通勤・通学の時間帯、原則として女性だけが乗車できる「女性専用車両」を導入している。	必要 ? 必要ない
Ⓑ	B映画館では、毎週水曜日にレディースデーが設けられ、女性は男性よりも500円安く映画を観られる。	必要 ? 必要ない
Ⓒ	C社は、現在、女性管理職の割合が2割であるが、5年後の割合5割を目指して様々な取組を行っている。	必要 ? 必要ない
Ⓓ	D県は、育児・介護中の女性の再就職を支援するために、「女性のためのパソコン講座」を開催している。	必要 ? 必要ない
Ⓔ	Eイタリア料理店Eでは、ランチのサービスで女性だけにデザートが提供される。	必要 ? 必要ない
Ⓕ	F社の長距離夜行バスでは、社内前方に「女性専用シート」を設け、男性乗客と隣同士にならないようにしている。	必要 ? 必要ない

[A鉄道会社では、通勤・通学の時間帯、原則として女性だけが乗車できる「女性専用車両」を導入している。]

これが社会にとって必要か、必要ないか。どちらかの札を、グループの意見として上げてみてください。はい、ありがとうございます。全てのグループで「必要」そうですね！実はこれは、皆様の話し合いの中でも出ておりましたけども、痴漢が非常に多いといったことから行われています。内閣府男女共同参画局と警視庁の調査によると約半数の女性が痴漢被害の経験があるということです。そして痴漢被害の半数以上が、まさに電車の中で起きているのです。こちらは痴漢行為を防止するための措置ですので、差別とはならないと考えるのが妥当かなということです。では次、Bに行きます。

[B映画館では、毎週水曜日はレディースデーが設けられ、女性は男性より500円安く映画を観られる。]

これについてはどうでしょうか。グループの意見を上げて下さい。迷っていますね。迷っている班は両方挙げて下さい。はい、ありがとうございます。半々という所でしょうかね。先ほどお話いただいた中にもありましたが、これは実はですね、メンズデーもあるんですよ。メンズデーとか、シニア、あとはファーストデーといって毎月1日が安いですよというような、そんな取組があったりします。こういったものは、要は経営者が利益追求のために行っているサービスで、レディースデーだけじゃなく他にもさまざまな集客サービスを行っているということです。こういった女性対象のサービスは企業が女性客の更なる拡大を目的に行っているの、社会的正義に照らして、あるべきかなくすべきかというのは、あまり議論する問題ではないのかも知れないということです。是非、皆様いろいろな特典をフルに使っていただくとよろしいかと思います。次に、3つめCです。

[C社は現在、女性管理職の割合が2割であるが、5年後の割合5割を目指して様々な取り組みを行っている。]



これはどうでしょうか。はい、多くのグループで「必要」というのが出てきましたが、こちらはどうしても不利益を受けてしまいがちな女性の実態を背景に、格差是正を図るために取られている措置でもあるわけですね。Dについてもお話されていたグループが多かったようですので、聞いてみますね。

[D県は、育児・介護中の女性の再就職を支援するために「女性の為のパソコン講座」を開催している。]

これも格差をなくすために行われている措置だということです。こういったものは国

際的な取組もありまして、差別とはみなされない、女性が社会に出て働くために必要なものだという事です。今お話いただいた中で、「私の意見が通らなかったわ」っていう方がいるかなと思います。でもそれがあって当然なんです。今日お集まりのみなさんでいろいろな意見を交換していただきたいという、そういう時間ですので、人それぞれ違って当たり前ですので、あなたは間違っているわ、私違うのかしら？そんなことは思わなくて平気かと思えます。ではここで休憩を取りたいと思えます。

— 休 憩 —

△▽男女共同参画って何？▽△

講 師：それではここからは「男女共同参画ってなあに」ということですが、男性と女性は生物としての違いがあることは、皆さんご存じかと思うのですけれども、まず外見的に違う。男性は髭が生え、声変わりをする。女性は妊娠して子どもを産むことができる。他に男性の身体はごつくいかつい、女性の身体は丸みを帯びているなど。

こういった違いがあるので、生活の中でも違いをつくる必要がある。トイレですとか衣服とかですね。妊娠しているお母さんだったら妊婦さん用の洋服というようなことが



あると思えます。では、こんな違いを耳にしたことがありますか？「男は仕事、女は家庭」聞いたことがありますよね。あとは、「男のくせに女みたいに泣くな」「女の子なんだからおしとやかにしなさい」私は本当に小さい頃からおてんばで、よく言われました。じゃあその「男らしい、女らしい」というのは誰が決めるのでしょうか。男らしい、女らしいについてちょっと考えてみましょう。まず、男

らしい、女らしいとはどんなものがあるのでしょうか。「男らしい」って、強い、逞しい、守る役割、積極的、合理的、そんなものが男らしいとなるのかもかもしれませんね。では「女らしい」ってどうでしょう。弱い、優しい、世話をする役割、受動的、補助的、こんなイメージがあるかもしれませんね。でもこれ、男らしい女らしいって、本当にそうでしょうか。もしかすると、女らしいと男らしいが逆になっていても実はあまり違和感のない人も多いのではないかなと思います。こういった特徴については、男性だから女性だからという事ではなくて、人それぞれがもつ個性なんじゃないかなって思うんですね。じゃあもう一つ、男性の役割・女性の役割になっていく訳ですが、先ほどもお話しましたが、「男性は仕事、女性は家庭」といった性別的な役割分担の考え方もありますね。これらは性別に基づいた行動パターンとか、能力を期待するといった歴史的、社会的、文

化的に作られた男女の区別なんですよ。でもこれに根拠はない訳です。この性別役割分担意識の事を、最初にチェックいただいたジェンダーと言うわけですね。生物的、身体的な違いではなくて役割としての性別的な意識がジェンダーというのですが、このジェンダー、実は我が国ではそれに基づく慣習が結構残っており、それが差別につながっている現状がまだあるのではないかなという所です。現在の日本では男性も女性も人権が平等に尊重されて性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮し、責任を分かち合いながら多様な生き方を選択できる社会をめざしているわけです。そのために様々な取組がされている訳ですね。こういった考え方が男女共同参画社会の考え方になっています。このような社会を実現していく為にはですね、これまでの「男性はこうあるべきだ、女性はこうあるべきだ」というように人を性別によってひとくくりにみる意識とか、「男は仕事、女は家庭」と言った性別による固定的な役割分担意識を変えなければいけないのではないのでしょうか。全ての人々が自分の能力を最大限に発揮できる社会、これを目指す必要があると思います。皆様も今日、いろいろな方の話をたくさん聞いて、身の回りにある慣習ですとかしきたりといった事を見直してみる機会になるのではないかなと思っております。

それではもう一つ、ワークをやっていききたいと思います。皆様のテーブルの上にホワイトボードがあると思います。こちらを使って進めていききたいと思います。

△▽ダイヤモンドランキング～男女共同参画社会へのはじめの一步～▽△

講師：一緒にお配りしたカードをみてもらっていいですか。そこにはですね、これから皆さんが男女共同参画社会を進めていくために大切だなと思われるような事柄が9つ書いてあります。どのようなものがあるかという、「子どもの習い事の送迎を分担する」「同一労働同一賃金を徹底する」「制服を男女共通にする」「男性の育児休暇取得を義務にする」「家事分担は話し合いで決定する」「女性が底の高い靴を履かない自由」「議員の男女比を同じにする」「化粧をするしない自由を認める」「こどもの学校行事には行ける人が行く」こういった事例を準備致しました。これを、グループの皆さんで話し合ってくださいまして、これから先必要であろうと思われるものから、順位付けをして行っていただきたいと思います。1位が1つ、2位が2つ、3位が3つ、4位が2つです。「これはまだいいんじゃないの?」「これはちょっとランキングとしては下かな」というようなことで、グループで相談しながらそのホワイトボードにランキングをしていただきたいと思います。時間があったら何を1位にしたかをグループ毎に理由も含めてどなたかにお話いただきたいので、どなたかお話していただける方を決めてもらってランキングも考えていただければと思います。もし、これは意味が分らないというカードがありましたら私の方に聞いていただければと思います。皆さんでちょっと相談しながらランキングをしてみてください。それでは、とりあえず5分でやってみてください。ではお願

いします。

—話し合い—

講師：はい、すみません。1位は決まりましたか？じゃあ、どうしてそれが1位になったかというのも、少しお話いただいても良いですか？

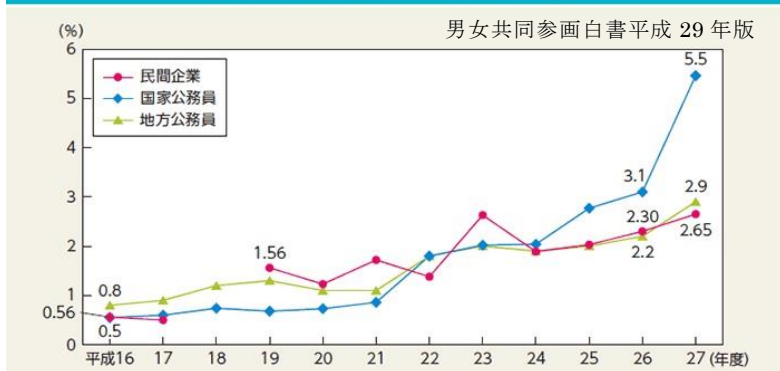
受講生：私どものグループでは同一賃金同一労働、これを1位という事に致しました。全ての学校教育の場で、社会教育とかね、そういう事の頂点に立つのが男女の同じ仕事をして、同じ賃金にしろという、そここのところに集約するのではないかという事です。そういう事で1位にしました。以上です。

講師：ありがとうございます。ちなみに他の班で同一賃金同一労働が1番だっているのは？結構いらっしゃる。はい、ありがとうございます。じゃ、違う所は…こちらは違いますね。どなたか、何を選んだかまず教えて下さい。

受講生：私たちは下の方からランキングを決めて行って、最後に残った男性の育児休職、休暇取得を義務化すると言うのが1位になりました。これはなかなか現実問題として男性が育児休暇を取るの今の日本では難しいので、これがとれたらなという事で1位になったんですけど。

講師：希望を含めてという事ですね。ありがとうございます。短い時間で申し訳なかったのですが、おそらく皆様いろいろな意見を交換して、一人ひとりの思いや価値観という物がお互い違うんだなあという事にもお気づきになられたのではないかなと思います。男女共同参画は言葉としては随分世の中に出てきているのですけれども、果たしてそれって進んでいるのか、それともそれほど進んでいないのかという事も気になる所かなと思うんですね。今日は事例も含めながら、皆さんにお知らせしたい事がございます。**#KUTOO (ハッシュタグ、クトゥー) 運動**というのを聞いたことがある方はいらっしゃいますか？あ、いらっしゃいますね、何人か。ありがとうございます。これは石川優実さんという女性が、職場でハイヒールを履きなさい、パンプスを履きなさいと強制するのはおかしいのではないかなという運動をしているものです。「#METOO (ハッシュタグ、ミートゥー) 運動」は聞いたことございますか？こちらは性被害とかセクハラを告発する運動。このMETOO運動と靴、そしてもうひとつ苦痛、これにかけて、**#ハッシュタグ、クトゥー運動**です。この方は、葬儀屋のアルバイトをしていたことがあって、その時に必ずパンプスを履きなさいと言う服装の規定があったそうなんです。ですが、男性にはそういった制約はないんですよ。ですので、そんな服装に関する規定を決めるのはおかしいのではないかなということで運動をしているという事です。他には、栃木県では性別に関係なく制服を選べる制度の導入に関して、署名運動を行った団体があるというのを最近ニュースでやっていましたが、ご存じでしょうか。新聞にも載っていたかなと思うんですけど、今後どのように動いていくのか気になる所です。以前はそういった制服に関して問題になった事は無かったかなと思いますよね。またも

I-3-10図 男性の育児休業取得率の推移



う一つ、こちらは男性の育児休業取得率の推移というグラフです。平成22年あたりから、少しずつ取得率が増えてきているのが分るかと思います。◆の線がぐーんと伸びてきているのですが、実はこれ、国家公務員の取得率がぐっと上がっ

ています。民間企業とか、地方公務員の方はまだ少しずつしか増えていないという現状があります。ランキングで1位にさせていただいたグループも有りますけれど、やはり、義務化すると取得率は上がってくるのかなと思います。ただ、他のグループのお話ですと、取りづらい環境であるというお話がでておりました。そしてもう一つですね。ジェンダーギャップ指数（GGI）という世界各国の社会進出の男女格差を示す指標があります。1と言うのは完全に平等である、0は完全に不平等である、という数値として見ていただくのですが、日本の総合スコアは0.662で世界149か国中なんと110位なんです。日本の中の評価分野で見ますと、教育は0.994でかなり1に近い。健康についても0.979ということで数値がかなり高いのですが、政治分野をみていただくと、0.081という事で、まだまだ日本は男女平等でない分野があるんだなあという事がわかるのではないかと思います。

△▽ふりかえり▽△

講師：さて、間もなく終わりの時間ですが、ふりかえりという事で、皆様がこの時間、色々とお話いただいた中でどんなことをお感じになられたかを意見交換していただければと思います。男女共同参画について、今後皆様が生き生きと共に幸せに暮らすためにはどのような事に気を付けて暮らして行けばいいのか、という事も含め、グループの中でお話をしていただけるとありがたいです。お願いします。

—話し合い—

講師：皆様、今日はお互いに色々とお話をさせていただきました、それぞれの価値観ですとか、それぞれの生きがいか、そういったものをお話いただくことができたのではないかと思います。こういう風に互いに認め合いながら人権を尊重し合って、意識を高めるといった事が、豊かな生活を支える基盤となっています。きっと、幸せに暮らす国にもつながって行くと思いますので、是非、今日の講座で知った事を家に帰った後でお話していただくと、地域社会に広がっていくのかなと思います。あと3回講座があるという事ですので、是非、充実したものにさせていただければと思います。本日は私のつたな

い話をたくさん聞いていただき、また積極的に活動に参加していただきましてありがとうございました。

<<アンケートより>>

- わかってもなかなか実行できない点が多い。
- 年を取ると夫婦お互いにいたわるようになるという意見が出て安心しました。
- KUTOO 運動を初めて知りました。
- 私のグループでは皆さん家事分担をされていてびっくりしました。私も主人に言っていいのかな？って思いました。
- 男性の参加がもっと増えると良い。

